東京都立多摩科学技術高等学校

令和 5 年度　年間授業計画　教科 国語　科目 現代の国語

教　科：国語　科　目：現代の国語　単位数：2 単位

対象学年組：第 1 学年

使用教科書：	教科書：精選現代の国語（東京書籍） 副教材：重要漢字コレクション（啓隆社）、評論・小説現代文単語（桐原書店）、新訂版現代文読解WORKSレッスン１（尚文出版）、新版七訂新訂総合国語便覧（第一学習社）

教科　国語　の目標：

【知識及び技能】	生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使っている。
【思考力、判断力、表現力等】	「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の各領域において、生涯にわたる社会生活における他者のとの関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。
【学びに向かう力、人間性等】	言葉を通じて積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉が持つ価値への認識を深めようとしているとともに、言語感覚を磨き、言葉を効果的に使おうとしている。

科目　現代の国語　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
科学技術に携わる者として豊かな感性を育み、生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけるとともに、我が国の言語文化についてその特質を理解し、適切に使っている。	「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の各領域において、生涯にわたる社会生活における他者のとの関わりの中で伝え合う力を高め、未来の科学者・技術者として自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通じて積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉が持つ価値への認識を深めようとしているとともに、言語感覚を磨き、言葉を効果的に使おうとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域 話・聞	領域 書	領域 読	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	単　元 1　言葉と社会	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	○	○	○	次の観点別評価規準に従い評価する。	○	○	○	12
	【知識及び技能】	・指導事項				【知識及び技能】				
	漢字・語彙を豊かにし、語感を磨き、認識や思考を支える言葉の働きや文の効果的な組み立てについて理解できる。	「言葉」と「他者」について認識を深める				漢字・語彙を豊かにし、語感を磨いている。認識や思考を支える言葉の働きや文の効果的な組み立てについて理解している。				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材				【思考力・判断力・表現力】				
	内容や構成、論の展開など叙述を基に的確に捉え要旨や要点を把握し、内容や意図を解釈・評価し考えを深めることができる。	教科書等				内容や構成、展開など叙述を基に的確に捉え要旨や要点を把握し、内容や筆者の意図を解釈・評価し自らの考えを深めている。				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人１台端末の活用（場面）				【学びに向かう力、人間性等】				
	粘り強く評論を捉え、学習の課題に沿って理解を深め、現代の問題に関心を持ち、他者や社会と関わろうとすることができる。	意見の発表や交換等				上記の内容について、授業中の発言や課題の完成度などにおいて、主体的かつ積極的に取り組んでいる。				
	単　元	指導項目に対し、次の教材等を活用する。				次の観点別評価規準に従い評価する。				
	【知識及び技能】	・指導事項				【知識及び技能】				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材				【思考力・判断力・表現力】				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人１台端末の活用（場面）				【学びに向かう力、人間性等】				
	定期考査（第１学期中間考査）/返却と解説									2
	単　元 2　記号論	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	○	○	○	次の観点別評価規準に従い評価する。	○	○	○	12
	【知識及び技能】	・指導事項				【知識及び技能】				
	漢字・語彙を豊かにし、語感を磨き、認識や思考を支える言葉の働きや文の効果的な組み立てについて理解できる。	「記号論」について理解し、認識を深める				漢字・語彙を豊かにし、語感を磨いている。認識や思考を支える言葉の働きや文の効果的な組み立てについて理解している。				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材				【思考力・判断力・表現力】				
	内容や構成、論の展開など叙述を基に的確に捉え要旨や要点を把握し、内容や意図を解釈・評価し考えを深めることができる。	教科書等				内容や構成、展開など叙述を基に的確に捉え要旨や要点を把握し、内容や筆者の意図を解釈・評価し自らの考えを深めている。				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人１台端末の活用（場面）				【学びに向かう力、人間性等】				
	粘り強く評論を捉え、学習の課題に沿って理解を深め、現代の問題に関心を持ち、他者や社会と関わろうとすることができる。	意見の発表や交換等				上記の内容について、授業中の発言や課題の完成度などにおいて、主体的かつ積極的に取り組んでいる。				
	単　元	指導項目に対し、次の教材等を活用する。				次の観点別評価規準に従い評価する。				
	【知識及び技能】	・指導事項				【知識及び技能】				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材				【思考力・判断力・表現力】				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人１台端末の活用（場面）				【学びに向かう力、人間性等】				
	定期考査（第１学期期末考査）/返却と解説									2

東京都立多摩科学技術高等学校

令和 5 年度　年間授業計画　教科 国語　科目 現代の国語

教　科：国語　科　目：現代の国語　単位数：2 単位

対象学年組：第 1 学年

使用教科書：	教科書：精選現代の国語（東京書籍） 副教材：重要漢字コレクション（啓隆社）、評論・小説現代文単語（桐原書店）、新訂版現代文読解WORKSレッスン１（尚文出版）、新版七訂新訂総合国語便覧（第一学習社）

教科　国語　の目標：

【知識及び技能】	生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使っている。
【思考力、判断力、表現力等】	「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の各領域において、生涯にわたる社会生活における他者のとの関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。
【学びに向かう力、人間性等】	言葉を通じて積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉が持つ価値への認識を深めようとしているとともに、言語感覚を磨き、言葉を効果的に使おうとしている。

科目　現代の国語　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
科学技術に携わる者として豊かな感性を育み、生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけるとともに、我が国の言語文化についてその特質を理解し、適切に使っている。	「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の各領域において、生涯にわたる社会生活における他者のとの関わりの中で伝え合う力を高め、未来の科学者・技術者として自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通じて積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉が持つ価値への認識を深めようとしているとともに、言語感覚を磨き、言葉を効果的に使おうとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域 話・聞	領域 書	領域 読	評価規準	知	思	態	配当時数
2学期	単　元　3　情報・科学技術論	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	○	○	○	次の観点別評価規準に従い評価する。	○	○	○	12
	【知識及び技能】	・指導事項				【知識及び技能】				
	漢字・語彙を豊かにし、語感を磨き、認識や思考を支える言葉の働きや文の効果的な組み立てについて理解できる。	「情報論」について理解し、認識を深める。				漢字・語彙を豊かにし、語感を磨いている。認識や思考を支える言葉の働きや文の効果的な組み立てについて理解している。				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材				【思考力・判断力・表現力】				
	内容や構成、論の展開など叙述を基に的確に捉え要旨や要点を把握し、内容や意図を解釈・評価し考えを深めることができる。	教科書等				内容や構成、展開など叙述を基に的確に捉え要旨や要点を把握し、内容や筆者の意図を解釈・評価し自らの考えを深めている。				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人１台端末の活用（場面）				【学びに向かう力、人間性等】				
	粘り強く評論を捉え、学習の課題に沿って理解を深め、現代の問題に関心を持ち、他者や社会と関わろうとすることができる。	意見の発表や交換等				上記の内容について、授業中の発言や課題の完成度などにおいて、主体的かつ積極的に取り組んでいる。				
	単　元	指導項目に対し、次の教材等を活用する。				次の観点別評価規準に従い評価する。				
	【知識及び技能】	・指導事項				【知識及び技能】				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材				【思考力・判断力・表現力】				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人１台端末の活用（場面）				【学びに向かう力、人間性等】				
	定期考査（第２学期中間考査）/返却と解説									2
	単　元　4　自己・自己認識	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	○	○	○	次の観点別評価規準に従い評価する。	○	○	○	12
	【知識及び技能】	・指導事項				【知識及び技能】				
	漢字・語彙を豊かにし、語感を磨き、認識や思考を支える言葉の働きや文の効果的な組み立てについて理解できる。	自己認識について理解し、認識を深める				漢字・語彙を豊かにし、語感を磨いている。認識や思考を支える言葉の働きや文の効果的な組み立てについて理解している。				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材				【思考力・判断力・表現力】				
	内容や構成、論の展開など叙述を基に的確に捉え要旨や要点を把握し、内容や意図を解釈・評価し考えを深めることができる。	教科書等				内容や構成、展開など叙述を基に的確に捉え要旨や要点を把握し、内容や筆者の意図を解釈・評価し自らの考えを深めている。				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人１台端末の活用（場面）				【学びに向かう力、人間性等】				
	粘り強く評論を捉え、学習の課題に沿って理解を深め、現代の問題に関心を持ち、他者や社会と関わろうとすることができる。	意見の発表や交換等				上記の内容について、授業中の発言や課題の完成度などにおいて、主体的かつ積極的に取り組んでいる。				
	単　元	指導項目に対し、次の教材等を活用する。				次の観点別評価規準に従い評価する。				
	【知識及び技能】	・指導事項				【知識及び技能】				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材				【思考力・判断力・表現力】				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人１台端末の活用（場面）				【学びに向かう力、人間性等】				
	定期考査（第２学期期末考査）/返却と解説									2

東京都立多摩科学技術高等学校

令和 5 年度　年間授業計画　教科 国語　科目 現代の国語

教　科：国語　科　目：現代の国語　単位数：2 単位

対象学年組：第 1 学年

使用教科書：	教科書：精選現代の国語（東京書籍） 副教材：重要漢字コレクション（啓隆社）、評論・小説現代文単語（桐原書店）、新訂版現代文読解WORKSレッスン１（尚文出版）、新版七訂新訂総合国語便覧（第一学習社）

教科　国語　の目標：

【知識及び技能】	生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使っている。
【思考力、判断力、表現力等】	「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の各領域において、生涯にわたる社会生活における他者のとの関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。
【学びに向かう力、人間性等】	言葉を通じて積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉が持つ価値への認識を深めようとしているとともに、言語感覚を磨き、言葉を効果的に使おうとしている。

科目　現代の国語　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
科学技術に携わる者として豊かな感性を育み、生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけるとともに、我が国の言語文化についてその特質を理解し、適切に使っている。	「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の各領域において、生涯にわたる社会生活における他者のとの関わりの中で伝え合う力を高め、未来の科学者・技術者として自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通じて積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉が持つ価値への認識を深めようとしているとともに、言語感覚を磨き、言葉を効果的に使おうとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域 話・聞	領域 書	領域 読	評価規準	知	思	態	配当時数
3学期	単元 5 文化論	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	○	○	○	次の観点別評価規準に従い評価する。	○	○	○	12
	【知識及び技能】	・指導事項				【知識及び技能】				
	漢字・語彙を豊かにし、語感を磨き、認識や思考を支える言葉の働きや文の効果的な組み立てについて理解できる。	「文化論」について認識を深める				漢字・語彙を豊かにし、語感を磨いている。認識や思考を支える言葉の働きや文の効果的な組み立てについて理解している。				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材				【思考力・判断力・表現力】				
	内容や構成、論の展開など叙述を基に的確に捉え要旨や要点を把握し、内容や意図を解釈・評価し考えを深めることができる。	教科書等				内容や構成、展開など叙述を基に的確に捉え要旨や要点を把握し、内容や筆者の意図を解釈・評価し自らの考えを深めている。				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人１台端末の活用（場面）				【学びに向かう力、人間性等】				
	粘り強く評論を捉え、学習の課題に沿って理解を深め、現代の問題に関心を持ち、他者や社会と関わろうとすることができる。	意見の発表や交換等				上記の内容について、授業中の発言や課題の完成度などにおいて、主体的かつ積極的に取り組んでいる。				
	単元	指導項目に対し、次の教材等を活用する。				次の観点別評価規準に従い評価する。				
	【知識及び技能】	・指導事項				【知識及び技能】				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材				【思考力・判断力・表現力】				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人１台端末の活用（場面）				【学びに向かう力、人間性等】				
	単元	指導項目に対し、次の教材等を活用する。				次の観点別評価規準に従い評価する。				
	【知識及び技能】	・指導事項				【知識及び技能】				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材				【思考力・判断力・表現力】				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人１台端末の活用（場面）				【学びに向かう力、人間性等】				
	単元	指導項目に対し、次の教材等を活用する。				次の観点別評価規準に従い評価する。				
	【知識及び技能】	・指導事項				【知識及び技能】				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材				【思考力・判断力・表現力】				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人１台端末の活用（場面）				【学びに向かう力、人間性等】				
	定期考査（学年末考査）/返却と解説									2